

## コンセッション研究部会（第1回）

日 時：5月25日（月）15：00～17：00

会 場：日本スポーツ振興センター

出席者：小松史郎（部会長）、萩裕美子、  
野川春夫、牧村真史、宮木宗治、澤内隆  
荒木裕司、笠原直香、大野央人、渡部雅隆、諸口友樹  
事務局（小林政則、加藤淑子、内田なお子）



### おもな議題

- 1) 月刊体育施設原稿「大型スポーツ施設におけるコンセッション方式の可能性」の紹介
- 2) 研究を進める上での課題の検討
- 3) 次回研究部会について

### おもな内容

- ・小松：指定管理者制度が始まり、民営化によるコストダウンが進む中、これ以上の経費削減は期待できない現状。これからの公共施設は、収益性の高い事業が求められる。研究部会のテーマを「収益力のあるスタジアム」とし、稼げるスタジアム運営について研究したい。  
研究会を進める上で、何回かは勉強会を実施したい。まずはコンセッションの勉強会から始めたい。
- ・牧村：収益性を上げるには、スタジアムの稼働時間の拡大がポイントになる。昼と夜の使い方も考えたい。コンセッション以外の運営方法も研究する必要性を感じる。  
クラウドファンディングも模索したい。国民のお金を集める仕組みも検討したい。
- ・宮木：スタジアム全体を活用せずとも、部分的に複合的な活用方法も考えられる。
- ・萩：「収益力のあるスタジアム」はこれまで誰も考えて来なかった新しい発想で、価値ある研究テーマになる。研究の結果、様々なハードルがあることを明らかにすることにも意味がある。収益性の高い事業運営を考える一つの手法として、コンセッションを取り上げてはどうか。

### 今後のスケジュールについて

- ・6月22日（月）15：00～17：00 会場は日本スポーツ振興センター
- ・7月13日（月）15：00～17：00（勉強会を検討）
- ・6月4日（木）の理事会総会で、研究会の発足に対する正式な承認を受けた後、賛同する企業を募るために、研究部会の主旨や研究テーマをまとめた、民間事業者の立場に立った運営の研究をPRする書類を作成する。以降、記者発表も予定。

## その他議論のポイント

- ・小松：研究にあたり課題山積。スタジアムのデータがない、スタジアムとアリーナの定義もない、資金がない、人手がない。新国立競技場は特殊な施設であり、他のスタジアムやアリーナでの応用は難しい。  
研究テーマを稼げるスタジアムとして、コンセッションの可能性と合わせて、ネーミングライツやテナント、有料VIP席の導入、遊休施設の稼働時間の拡大、巨大なスペースの有効な活用方法などを検討したい。
- ・萩：これまでの大型スポーツ施設は、建設する前の段階から将来の活用方法についての議論が行われてこなかった。それだけでも価値のある研究であり、新国立競技場が先鞭をつけることで、他の施設はそのいいところを規模や立地で活用することができる。  
アマチュアスポーツの世界ではお金を儲けることをタブー視してきたが、その認識を変えるきっかけをつくりたい。
- ・荒木：コンセッションや指定管理者制度は、独立採算や混合型など、いろいろなケースが考えられる。  
新国立競技場が収益性の高い運営を成功させることで、各地の施設も変わってくると考える。稼げるスタジアムは、アメリカ等に好事例があると思う。
- ・宮木：民間企業が運営権を得るための金額を試算する上でも、稼げる事業運営モデルは必要。
- ・牧村：稼げる事業運営モデルを、3パターン程度作成してみてもどうか。サポーター制度の導入も検討したい。都民一人が1000円支払えば、100億円の収入になる。毎日来て、お金を支払う利用者の可能性も考えたい。  
初年度は、新国立競技場の研究、2年目は他の大型スタジアムを含めた研究を進めてはどうか。
- ・澤内：スタンドを活用して、ノルディックウォーキングなどのイベントができる。モブなども面白いと思う。スタジアムを部分的に活用して、同じ日に様々なイベントが実施できる。  
座席をネーミングライツの形で個人に売り出せば、60000席分の収入を得ることができる。

### ★懇親会

スペイン Bar レストラン「太陽海岸」にて任意参加で実施。(6名)

@2000円

